

授業科目名 <英訳>	東洋史学(演習) Oriental History (Seminars)			担当者氏名	人文科学研究所 准教授 村上 衛				
配当学年	3回生以上	単位数	4	開講期	通年	曜時限	木2	授業形態	演習
題目	在中国イギリス領事報告を読む								
【授業の概要・目的】									
中国近代の社会・経済に関する英文史料を精読する。英文史料を読むことによって、イギリス人などの外からの目を利用しつつ、中国近代社会経済史に対する理解を深める。さらに、英文史料の扱い方、長所・短所などを理解し、中国近代史を研究するにあたって利用する史料の可能性を広げ、また史料操作能力の向上を図る。									
【授業計画と内容】									
イギリス外交文書のうち、在中国イギリス領事の報告（FO228）を精読する。具体的には、商業紛争、海事関係・華人関係の紛争など、社会・経済に関わる紛争を取り上げる。必要に応じてFO228に含まれている英文史料に対応する漢文史料も読む。なお、史料の内容は非常に細かいものが多いため、講義形式の解説を加え、史料を中国近代史の中に位置づけていく。									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
平常点									
【教科書】									
テキストはコピーして授業の際に配布									
【参考書等】									
（参考書） 坂野正高・田中正俊・衛藤藩吉編 『近代中国研究入門』（東京大学出版） 岡本隆司 『近代中国と海関』（名古屋大学出版会） 本野英一 『伝統中国商業秩序の崩壊 不平等条約体制と「英語を話す中国人」』（名古屋大学出版会） 岡本隆司・吉澤誠一郎編 『近代中国研究入門』（東京大学出版会） 村上衛 『海の近代中国 福建人の活動とイギリス・清朝』（名古屋大学出版会）									
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））									
毎回、テキストの音読、読解を輪番で課すため、手書き文書に慣れるまでは予習に時間を要することになるだろう。ただし、扱う英文は主に部下（領事）から上司（公使）への報告であり、大部分はそれほど難解なものではないから、積極的な参加を期待したい。									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									